

# ■競技上の諸注意について

令和5年7月 審判長

本大会は、現行の日本卓球ルールおよび細則を適用して実施する。

## 1. 競技方法

団体戦は、第1ステージは5試合すべてを行い、勝敗が同じ時は5試合すべての結果をもとに勝率計算を行う。第2ステージトーナメントおよび代表決定リーグでは3点先取制で行う。

## 2. ラケット・ラバー・ボールについて

- (1) ラケットの本体は、JTAAの文字および商標があり、ラバーは、ラケット本体を覆っているラバーの表面、或いは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色でなければならない。また、ラバーは公認マークやメーカーの商標・ロゴ等がラケット本体のグリップに最も近く、はっきり見えるように貼らなければならない。
- (2) 外国製ラケットでJTAAのマークのないものを使用する場合は、試合前に審判長の許可を得ること。ラバーはJTAAもしくはITTFのマークがあればよい。
- (3) ラバーはラケット本体の外周いっぱいまで貼るものとする。はみだしたり、不足したりする貼り方をしないこと。
- (4) アリーナ内でのラバーの貼り替えは禁止する。
- (5) ラバーの貼り方を含め、不備のあるラケットでコートに入ることがないように監督の責任において適切な事前指導を徹底すること。不備がある場合には、審判長の判断で使用させないことがあり得る。
- (6) 大会試合球は、VICTAS・ニッタク・ヤサカ・タマスの4社製品のホワイトボールとする。ボールのメーカー選択は、コートに入ってからの双方の話し合いで決定する。お互いの希望が違った場合はじゃんけんにより決定する。
- (7) 試合のインターバルの間（休息时间を含む）は、ラケットはコートの上に置いておくこと。

## 3. サービスについて

- (1) サービスの構えのとき、手のひらの上に置かれたボールはエンドラインより後方で、プレーイングサーフェスより高い位置であること。
- (2) オープンハンドサービスとし、ボールは回転を与えることなく16cm以上の高さにほぼ垂直に投げ上げること。
- (3) ボールが投げ上げられた瞬間から打球するまでの間、身体の一部などでボールをレシーバーから隠してはいけない。
- (4) 違反サービスには注意を与えるので、以後繰り返さないように注意すること。

## 4. プレーの継続について

- (1) 試合の開始・終了の挨拶は、礼およびラケットタッチなどをするだけとし、必要以上の礼は省くこと。
- (2) ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスやレシーブの体制をとり、競技時間の短縮に心がけること。
- (3) タオルの使用は6ポイント毎のサービス交代時のみとする。

(4) 選手はゲーム間の休息時間にプレー領域を離れてはいけない。

#### 5. タイムアウト制について

- (1) タイムアウト制は、団体戦で代表決定リーグ、個人戦で4回戦以降に適用する。
- (2) タイムアウトを取るときは、主審に両手で「T」の字をつくり伝えること。
- (3) タイムアウトは1試合に1度とることができ、その時間は1分以内とする。
- (4) 団体戦では監督または競技者本人、個人戦では競技者本人またはベンチコーチ（登録してある監督、コーチまたはアドバイザーもしくは当該校の生徒）がとることができる。
- (5) 団体戦で複数台使用の場合に限り、コーチまたはアドバイザーがタイムアウトをとることができる。（中体連特別ルール）

#### 6. 服装について

- (1) 服装規定は現行の日本卓球ルールによる。
- (2) 団体戦の出場者は同一のユニフォーム（半袖・短パン）を着用すること。身体的な障がい、その他の理由でトレーニングウェアを着用する場合は、監督会議で了承を得る。

#### 7. 審判について

- (1) 今大会は選手による相互審判で行う試合も含む。
- (2) 試合終了後、団体戦は監督、個人戦は選手が対戦記録用紙に署名をすること。

#### 8. 一般的注意事項

- (1) 団体戦でベンチに入れるのは登録者（選手8名以内、監督、コーチまたはアドバイザーの2名）のみとする。ただし、外部指導者（アドバイザー）が単独でベンチに入ることはできない。※1
- (2) 個人戦でベンチに入れるのは、登録してある監督、コーチまたはアドバイザーもしくは当該校の生徒のうち1名のみとする。
- (3) 選手へのアドバイスは、ゲーム間の1分間以内の休息時間とタイムアウトの要求が認められたときのみとする。選手はラケットをコートの上に置く。
- (4) 観覧席からアドバイスをしたり、サインを出したりすることは厳重に慎むこと。
- (5) 抗議権は、団体戦についてはベンチに入っている監督、個人戦については競技者本人にしか認められない。なお、外部指導者（アドバイザー）に抗議権はない。※1
- (6) 試合運営を円滑に行うために、個人戦出場選手はプログラムに記載されたタイムテーブルを確認し、進行状況を見てコートに入ること。原則、タイムテーブル通りに試合を開始するが、進行に遅れが出た場合は、前の試合が終了次第直ちに行う。試合開始時刻になっても選手が現れない場合、アリーナに放送を入れる。2度の呼び出しをしても来ない場合には棄権とみなす。

※1 ただし、校長が引率者として承認した外部指導者（アドバイザー）の引率および監督の資格を認めている札幌市はその限りではない。

# ■競技進行について

## 1. 基本的な考え方

競技は20台を使用して進行する。フェンス内に選手・ベンチコーチ用のイスを用意する。感染症予防のための換気と熱中症予防対策のため、外気とつながる窓やドアを開ける。公開練習については、感染症予防対策のため、台や時間に制限を設ける。参加選手および引率者にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 2. 競技日程

- 【第1日目】 開始式…8：40～ \*監督会議は行わない(HPに資料掲載)  
個人戦男子3回戦まで…9：20～11：50  
個人戦女子3回戦まで…13：00～15：30
- 【第2日目】 個人戦決勝まで …9：00～11：20  
個人戦表彰式 …11：20～11：30  
団体戦第1ステージ …12：15～17：30 (リーグ戦)  
公開抽選会 …競技終了後
- 【第3日目】 団体戦第2ステージ …9：40～12：00 (トーナメント戦)  
団体戦代表決定リーグ…12：30～16：00  
団体戦表彰式 …競技終了後

## 3. 使用コート

- (1) 団体戦は以下のように台を指定して進行する  
第1ステージ …原則1.5台使用で進行する。(1台は隣接する試合と交互に用いる)  
第2ステージ …すべて2台同時使用で進行する。  
代表決定リーグ…すべて2台同時使用で進行する。
- (2) 団体戦・個人戦とも若い番号のチーム(選手)が本部席側のベンチに入る。  
但し、団体戦は試合が連続する場合は、ベンチを変わらないこと。

## 4. 団体戦オーダー用紙の提出および交換

- (1) 団体戦のオーダー用紙(男子青枠、女子赤枠の5枚複写式)は、フルネームで誤記がないように十分に確認したものを、各コートでコート主任に提出する。
- (2) オーダー用紙の提出は、各チームの監督またはコーチが行う。
- (3) 双方の監督またはコーチが揃った時点でコート主任にオーダー用紙を提出し、確認を受けてコート主任が記録用紙に貼る。
- (4) オーダー用紙交換は、各試合開始時刻の10分前からとする(タイムテーブル参照)。ただし、試合が遅れている場合は、前の試合終了後直ちに行うので、可能な限り事前の準備をして提出すること。(オーダー用紙提出時刻は放送が入らないので注意すること。)
- (5) オーダー用紙の配付については下記の通りとする。なお、2部以上書き損じた場合は、必ず監督が書き損じたオーダー用紙を持参の上、本部席に新たな用紙を受け取りにくること。
- ①第1ステージ分…受付時に配付した袋の中に予備の1部を含めて3部ずつ配付。  
②第2ステージ分…組み合わせ抽選会終了後、その場で第2ステージに出場する各チームに1部ずつ配付。また、1回戦終了後、2回戦に進むチームの監督は、本部席に取りに行く。  
③代表決定リーグ…第2ステージ終了後、代表決定リーグに進むチームの監督はオーダー用紙3部を本部席に取りに行く。

## 5. 試合の進行

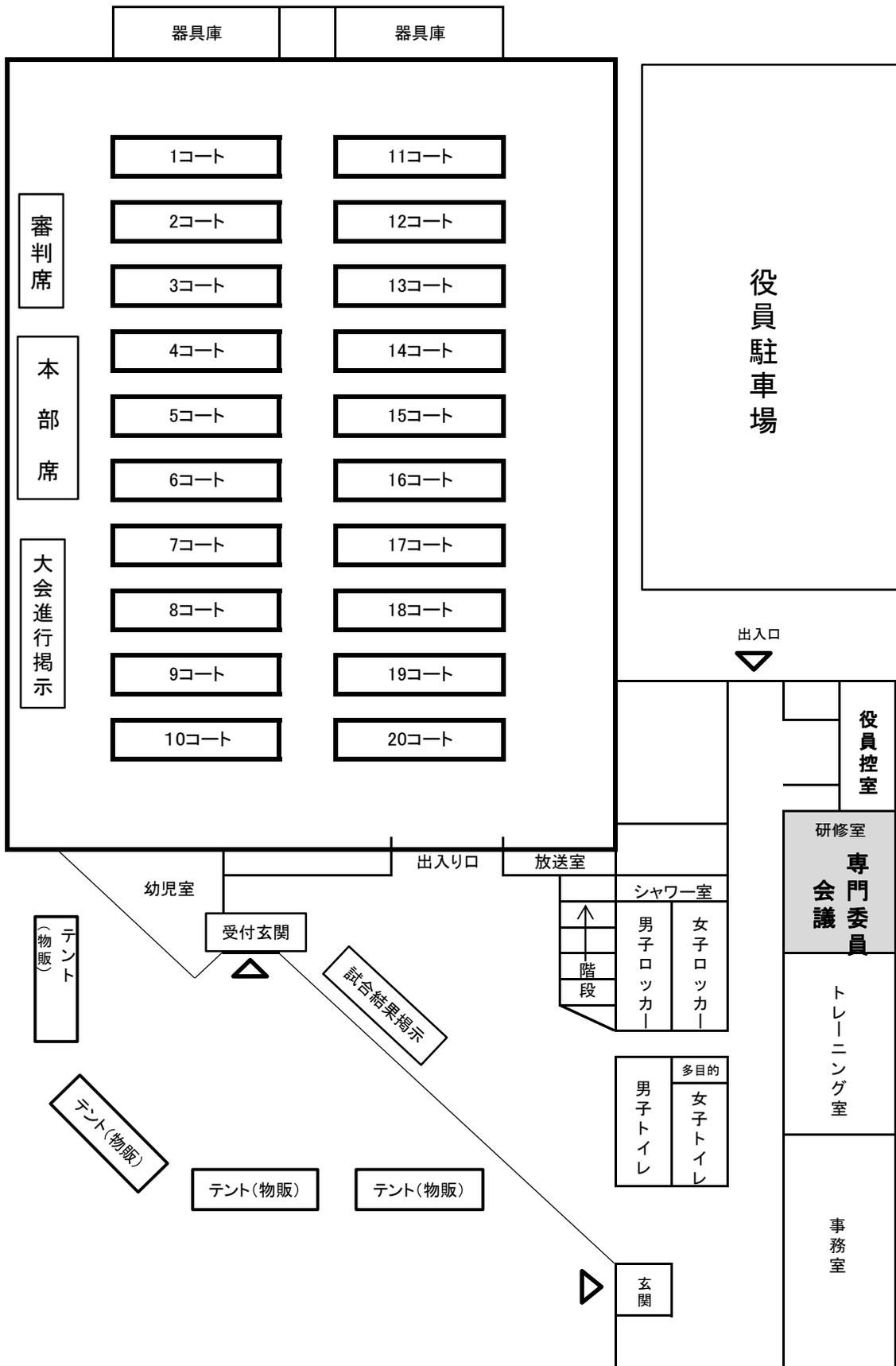
- (1) 3日間の午前・午後の第1試合は、放送の指示により各コートに整列し、一斉に試合を開始する。

- (2) 2日目の団体戦開始前に、1日目の開始式で伝えた諸注意を再度放送する。
- (3) 試合進行は基本的にタイムテーブルにそって行う。放送のコールは原則しない。
  - ①団体戦は、競技開始予定時刻の5分前までに指定されたコートに集合すること。団体戦は原則時間通りに進行する。
  - ②個人戦は、自分の前の試合が始まったら、進行状況を確認し、コート番号を確認の上準備すること。
  - ③個人戦では、団体戦同様、直接自分のコートに入る。選手待機場所はない。試合の進行状況によって試合時刻が予定時刻より早くなることはない。ただし、状況に応じて、コートを変更して試合を行う場合がある。時間になっても選手がコートに入らない場合には放送でコールする。試合会場にしか放送は流れないので注意すること。2回のコールで選手が現れない場合は、失格とする。
  - ④事前(当日の朝まで)にわかっている棄権者は、ホールに掲示する。急遽棄権する場合は、放送する。
- (4) 試合に使用するタオルは、用意されているかごに入れて使用する。コートチェンジの際にはかごと移動する。
- (5) 試合終了後の礼は1度とし、その後の相手監督への礼は進行及び感染予防上慎むこと。
- (6) 試合終了後、団体戦は監督またはコーチが対戦記録用紙に署名をする。個人戦は、選手が対戦記録用紙に署名をする。

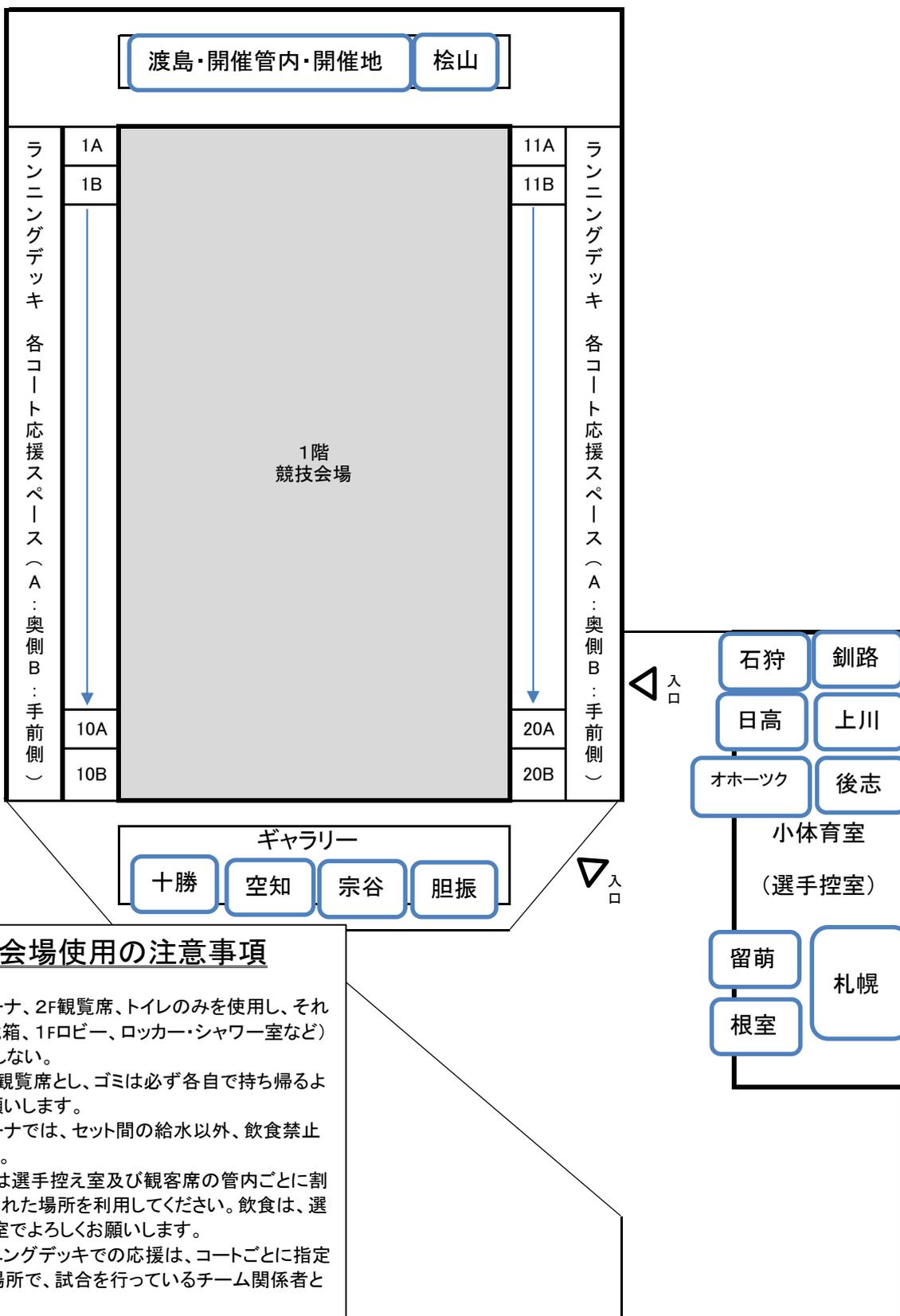
## 6. その他

- (1) 開始式・表彰式について
  - ①開始式は、個人戦の第1試合のある選手はベンチで、それ以外の選手は観客席及びランニングデッキ・ギャラリーで行う。
  - ②5日の団体戦開始の前に、団体戦に向けて諸注意を改めて連絡するので、以下のように着席していること。
    - ・第1試合があるチーム～12:00までにコートベンチに着席する。
    - ・第1試合がないチーム～観客席及びランニングデッキ・ギャラリーへ移動する。
  - ③昨年の優勝杯は、事前に本部席に返却すること。
  - ④表彰式は、対象者・対象校を集めて行う。
- (2) 審判(主審)について
  - ①団体戦
    - ・第1及び第2ステージトーナメント戦は相互審判で行う。セットごとに、記録用紙へ結果を記入し、副審にわたす。試合結果の記入はコート主任が行う。
    - ・主審は以下のようにする。
      - 番号の大きいチーム 1番・3番・5番。番号の小さいチーム 2番・4番。
      - ダブルスにおけるサーブの時は、主審がセンターラインを、副審がネットを見る。
    - ・代表決定リーグは審判員が行う。
  - ②個人戦
    - ・1回戦は審判員が行う。
    - ・2回戦以降は敗者審判で行う。試合に負けた選手はその場に残り、次の試合の主審を行う。記録用紙へ結果を記入後、選手にサインをしてもらい、両者に1枚ずつ渡す。その後、バインダーをコート主任に渡す。
- (3) ランニングデッキでの応援について
  - ・2階ギャラリーでの応援は、コートごとに指定された場所で、試合を行っているチーム関係者が行うこと。
- (4) 会場関係
  - 体育館内では原則IDや選手タグを身に付け、体育館の出入りの際には必ず係員に提示すること。
  - 名鉄観光 弁当：11:00～お渡し 14:00まで空箱の回収 (玄関近く名鉄観光ブース)

# 競技会場1階



# 競技会場2階



## 会場使用の注意事項

- ◆アリーナ、2F観覧席、トイレのみを使用し、それ以外(靴箱、1Fロビー、ロッカー・シャワー室など)は使用しない。
- ◆2Fは観覧席とし、ゴミは必ず各自で持ち帰るようにお願いします。
- ◆アリーナでは、セット間の給水以外、飲食禁止とします。
- ◆選手は選手控え室及び観客席の管内ごとに割り当てられた場所を利用してください。飲食は、選手控え室でよろしくをお願いします。
- ◆ランニングデッキでの応援は、コートごとに指定された場所で、試合を行っているチーム関係者とします。